

「安心して子どもを生み 育てる環境づくり」を！



質問者

鍵和田 貴実代 議員

小児医療費の助成は、22年度予算で他町に先がけ「小学校就学前」までを「6年生卒業」までに拡大していただきました。

また、子宮頸がんワクチンの無料化について、「中学3年」から「高校1年」まで拡大していただき、お母様方にとって大きな福音となっております。厚生労働省で男女にアンケートを実施した結果、女性でワクチンを知る人は78.4%で、そのうち接種したい人は71.3%でした。男性がパートナーに接種して欲しい人も72.0%と、関心の高さが示されています。

そこで、次の2点について伺います。

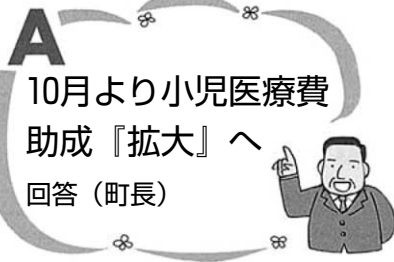
① 小児医療費の助成に

ついて、「小学6年」

までを「中学3年」までに拡大していただく考えは。

② 2市8町の子宮頸がんワクチンの接種状況

は。



① 今回の総合計画に「多様な福祉サービスの提供」を位置づけ、その中の「次代を担う子どもたちが、健やかに育つための環境づくり」

を推進していく。『23年度には、小児助成の対象を中学校終了まで拡大』については、準備期間の必要があるため、実施は10月診療分からとなる。

② 小田原市・南足柄市



質問者

飯田 一 議員

安全・安心なまちづくりの推進

・中井町・開成町・箱根町は開始している。大井町・山北町・真鶴町・湯河原町は23年度より開始する。なお、松田町の1回目の接種状況は、147人中87人(59.2%)である。

豊かな心と暮らしを営む「松田スタイル」の基盤は、安全・安心のまちづくりと考えますが、以下についてお考えをお尋ねします。

① 防犯灯補助金の見直し
安全・安心のまちづくりに防犯灯は欠かせない

い設備ですが新設等地域の要望に対し、なかなか応えられないのが実情です。防犯灯補助金の見直しを。

② 自主防災組織の強化を

神縄・国府津・松田断層帯を抱える当町としては当然、重点施策



次代を担う子どもたちのために！



① 新設のほか既設の防犯灯の修理に対し、補

の位置付けとなつていますが、自主防災組織の強化はどのようにお考えですか。

③ 住宅用火災警報器の設置周知を

平成23年6月1日から、住宅用火災警報器の設置が、消防法令により義務付けられます。町民に対する周知・対策等は万全でしょうか。



高齢者宅に火災警報器を設置

助金を出している。費用のかさむ場合には、相談に応じたい。

② 「自助」、「共助」のしつかりとした仕組みづくりが必要である。地域の防災力を高めていくために、中心的役割を担うリーダーとしての人材を育成するため、各種講座を開催するなど各自自主防災会の強化に努めたい。

③ 平成23年5月までに、設置することが義務付けられている。65歳以上の一人暮らしの方や障害者を対象に、無償で町が設置するサービスも行っている。期限までに、全戸で設置していただけるようPRに努める。